



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年12月26日

上場会社名 株式会社 さが美 上場取引所 東
 コード番号 8201 URL http://www.sgm.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野山 晴夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(業務担当) (氏名) 宿野 大介 TEL 045-820-6002
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年2月21日～平成24年11月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	17,469	△5.7	△878	—	△859	—	△1,067	—
24年2月期第3四半期	18,518	△14.2	△898	—	△900	—	△1,376	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 △1,057百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 △1,414百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	△26.87	—
24年2月期第3四半期	△34.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	13,770	7,477	54.3
24年2月期	14,600	8,537	58.5

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 7,477百万円 24年2月期 8,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年2月21日～平成25年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	△3.3	△210	—	△200	—	△400	—	△10.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	40,834,607株	24年2月期	40,834,607株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	1,112,033株	24年2月期	1,093,689株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	39,732,254株	24年2月期3Q	39,756,876株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の東日本大震災に対する復興特需も一巡した上に、日中関係の悪化等による外需の低迷もあり、景気は後退局面に入った兆しが見えております。

小売業界におきましても、震災によって大きく落ち込んだ昨年との比較では、一時的に売上高を伸ばした月はあったものの、全体としては前年を若干下回って推移しております。

当社グループにおきましても、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年比で94.2%と苦戦を強いられました。

きもの事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年比で95.6%となりました。これは㈱九州さが美の株式譲渡による売上高の減少によるところが大きく、既設店前年比では99.6%とほぼ前年並みとなっております。株さが美におきましては、展示販売会の会場契約高が優良顧客向け展示販売会の実施などにより、おおむね前年並みの実績をあげることができました。また、きものお手入れ企画や保管用グッズの拡販など、ここ数年取り組んでいる、メンテナンス重視の店頭力強化ならびに新規客の固定化策を継続して実施し、店頭での平常時の受注客数は、前年を上回っております。

ホームファッション事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年比88.5%と大きく落ち込みました。特に、日用雑貨の構成比が高いLIVEONCEブランド、ならびにORANGEHOUSEブランドが前年を大きく下回りました。これは、前年同期間に震災からの復興需要によって日用雑貨の売上高が拡大したことと、節電対応による夏物商材の先取り等の反動によるものであります。また、一昨年より拡販してきた、シリコンスチーマやマッサージクッションなどの売れ行きが鈍り、それらに続くヒット商品を提供できなかったこともあげられます。

店舗面におきましては、きもの事業において初めて蔵三昧ブランド（リサイクルきもの）の単独店舗を、東京都町田市に出店いたしました。また水戸駅ビルエクセル、京阪モール京橋および静岡パルコに計3店舗を出店し、ディベロッパーの閉鎖により2店舗、効率の悪化により1店舗を、それぞれ閉鎖いたしました。ホームファッション事業は、karakoブランドを川越アトレマルヒロに出店し、契約満了により3店舗、効率の悪化により2店舗を、それぞれ閉鎖いたしました。子会社の㈱九州さが美の株式譲渡により、15店舗が減少しております。これにより当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、株さが美236店舗、㈱東京ますいわ屋47店舗、グループ合計で283店舗となっております。また業態別店舗数は、きもの事業211店舗、ホームファッション事業72店舗、となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用により、共用資産を含む固定資産について、1億81百万円の減損損失を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益174億69百万円（前年同四半期比5.7%減）となり、利益面においては、営業損失8億78百万円（前年同四半期比20百万円の改善）、経常損失8億59百万円（前年同四半期比40百万円の改善）、四半期純損失10億67百万円（前年同四半期比3億8百万円の改善）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、137億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億29百万円減少しました。これは主として、商品の増加があるものの現金及び預金や差入保証金が減少したことなどによるものであります。

負債については、62億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億30百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金や未払法人税等、退職給付引当金の減少があるものの、短期借入金や前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産については、74億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億59百万円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の景気動向につきましては、政権交代による期待感から一時的に活性化しておりますが、先行きは不透明であります。

当社グループといたしましては、1～4月のきもの実需シーズンを控え、「きものをお召しになる方を応援します」をテーマに掲げ、割引や新しい特典を用意するとともに、機能性素材や実用機能を高めた新商品を投入いたします。また雑貨事業は年末年始というトップシーズンに入りますので、売上高の減少を少しでも取り戻すために、全力を尽くしてまいります。

なお、平成24年9月25日付にて予想内容を変更いたしました、当社グループの通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

当社グループは親会社であるユニー株式会社の支援のもと、きもの事業を核とした事業の再構築及び経営コストの構造改革等の再建計画を策定し、平成21年2月期以降構造改革を進めておりましたが、きもの事業を取り巻く環境が引き続き厳しい状況にあり、東日本大震災の影響を受けた前連結会計年度に引き続き、当第3四半期連結累計期間においても営業損失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しています。

これに対して、当連結会計年度の重点課題である①店頭力の強化、②人財の育成、③成長のための取り組み、④コンプライアンスの推進、⑤ローコストへの継続的取り組みの実現に努めてまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,085,228	455,367
受取手形及び売掛金	1,170,386	1,064,542
商品	2,196,335	2,556,228
貯蔵品	9,997	9,767
その他	1,294,754	1,266,146
貸倒引当金	△1,600	△1,600
流動資産合計	5,755,103	5,350,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	421,338	390,085
土地	3,265,472	3,236,590
その他(純額)	77,285	57,648
有形固定資産合計	3,764,096	3,684,324
無形固定資産	99,447	16,181
投資その他の資産		
差入保証金	3,367,836	3,094,831
その他	1,766,890	1,769,430
貸倒引当金	△153,110	△144,266
投資その他の資産合計	4,981,616	4,719,996
固定資産合計	8,845,161	8,420,501
資産合計	14,600,264	13,770,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382,407	1,236,509
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000,000
未払法人税等	174,011	99,051
前受金	1,265,221	1,811,820
賞与引当金	21,800	42,500
資産除去債務	17,868	20,959
その他	1,089,942	1,018,464
流動負債合計	3,951,251	5,329,304
固定負債		
長期借入金	1,000,000	—
退職給付引当金	569,082	465,231
資産除去債務	382,803	348,028
その他	159,645	150,826
固定負債合計	2,111,531	964,086
負債合計	6,062,782	6,293,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217,235	9,217,235
資本剰余金	8,812,318	405,057
利益剰余金	△8,403,037	△1,054,699
自己株式	△345,046	△347,212
株主資本合計	9,281,469	8,220,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,196	23,992
土地再評価差額金	△758,184	△766,811
その他の包括利益累計額合計	△743,988	△742,819
純資産合計	8,537,481	7,477,561
負債純資産合計	14,600,264	13,770,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
売上高	18,381,655	17,324,433
売上原価	8,253,523	7,775,369
売上総利益	10,128,131	9,549,064
営業収入	137,233	145,237
営業総利益	10,265,365	9,694,301
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	4,360,941	4,098,205
賞与引当金繰入額	48,990	42,500
退職給付費用	265,514	235,990
賃借料	2,615,697	2,448,772
その他	3,872,957	3,746,858
販売費及び一般管理費合計	11,164,101	10,572,327
営業損失(△)	△898,735	△878,026
営業外収益		
受取利息	498	755
受取配当金	2,055	3,408
仕入割引	18,637	18,591
その他	13,081	14,903
営業外収益合計	34,272	37,659
営業外費用		
支払利息	14,983	12,378
支払補償費	12,615	4,300
その他	8,037	2,894
営業外費用合計	35,636	19,573
経常損失(△)	△900,099	△859,939
特別利益		
固定資産売却益	380	—
投資有価証券売却益	9,115	—
関係会社株式売却益	—	84,331
貸倒引当金戻入額	30,685	—
その他	1,904	7,047
特別利益合計	42,085	91,378
特別損失		
固定資産売却損	149	1,210
固定資産除却損	6,221	5,795
投資有価証券評価損	2,678	—
減損損失	14,529	181,589
災害による損失	16,873	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	372,428	—
特別損失合計	412,880	188,594
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,270,894	△957,155
法人税、住民税及び事業税	95,816	115,964
法人税等調整額	9,775	△5,570
法人税等合計	105,592	110,394
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,376,486	△1,067,549
四半期純損失(△)	△1,376,486	△1,067,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,376,486	△1,067,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,059	9,795
その他の包括利益合計	△38,059	9,795
四半期包括利益	△1,414,546	△1,057,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,414,546	△1,057,754

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年5月15日開催の第38期定時株主総会において、「第1号議案 資本準備金および利益準備金の額の減少の件」ならびに「第2号議案 剰余金の処分の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金8,407,261千円、利益準備金655,751千円を減少させ、それぞれその他資本剰余金および繰越利益剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金および別途積立金の全額を減少させ繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の損失の補填をおこなっております。